

平成31年1月7日（月）

老球の細道456号

「ちょっとずつ猛進」を目指す1年に！

会津バスケットボール協会 室井 富仁

信念励ましておめでとうございます。

南米大陸最高峰アコンカグア（標高6961メートル）への登頂とスキー滑降を目指すプロスキーヤー三浦雄一郎さん（86歳）が2日、東京から出国した。登頂とスキーは21日前後になる予定だという。空港では報道陣を前に「緊張も不安もない。天気の良いことを願っている」と語った。この人は怪物である。

定年退職してから三浦雄一郎さんの生きざまを目標に、郷ひろみをライバルとして日々アンチエイジングを目指してトレーニングに励んできた。あれから5年。とうとう今年から65歳の「高齢者」軍団の仲間入りをすることになった。市役所から介護保険にかかわる連絡が来たり、日本年金機構から基礎年金、厚生年金の面倒くさい提出書類があったりと「お前は高齢者だ」とダメ押しをされている。

特に65歳になったからといって年齢を意識した生活は考えていない。むしろ「高齢者」ではなくて「好齢者」または「幸齢者」として、棺桶に片足を突っ込むまで三浦雄一郎さんのように好きなことをやって攻撃的に生きていたいものである。

毎年新年を迎えると目標をたて、生涯の友『日本能率手帳B5黒ラベル』に書きまくる。「毎日がお正月」、「毎日が誕生日」のように生きて行くために。今年も4つのカテゴリーでいくつかの目標を上げた。目標は力なり。

①バスケットボールコーチング：更なるクリニック活動により多くの子どもたちやコーチたちが将来大きく育つための土壌作りをする。そのためにも世界のバスケットボールに常にアンテナを張る。

②バスケットボール界の発展：バスケットボール協会やBリーグなどにおいてバスケットボール発展のため、恩返しのためにできる範囲で協力する。

③大学の授業：学生にスポーツをする楽しさとスポーツの知的な面の面白さを伝えていきたい。と同時に私自身も学生と共に動きまわりながら勝負にこだわり自信を回復する。あわよくば体力向上も目指す。

④プライベート：試練と至福の孫守りは今年も続く。孫の教育は爺婆にあり。爺婆の元気が基本。血圧と腰痛に注意しながら読書とトレーニングで心身共にパワフルに。

昨年は久しぶりに「レコード大賞」のテレビ番組を見た。孫たちとダンプの「U・S・A」ダンスをしながらレコード大賞はダンプだなと確信していた。ところが、まさかの「乃木坂46」の「シンクロニシティ♪」。歌謡界でもアップセットが起きた。今年もバスケットボール界のアップセットが楽しみである。

今年はいノシシ年である。いノシシといえば猪突猛進のイメージがあるが、実際は危険が迫ると水の中に入って逃げることもあり臨機応変であるという。それにちなんで今年の私のスローガンは「ちょっとずつ猛進」。また、「山より大きないノシシは出ない」という言い方がある。「入れ物より大きな中身はない」という譬えである。バスケットボールに置き換えると「コーチより優れた選手は育たない」と解釈する。私たちコーチがさらに研鑽に励み器を大きくする1年でありたい。いノシシさんありがとう。